

第5日

第104回全国高校野球選手権茨城大会第5日は14日、ノールホーム水戸など5球場で2回戦13試合が行われた。

科技日立は延長10回の末、Dシードの常総学院に6-5でサヨナラ勝ちした。水戸工も勝田工に逆転でサヨナラ勝ちを収めた。水戸桜は敗は終盤の逆転でDシードの水戸啓明を下し、境は佐和に競り勝った。

Table with 2 columns: Team Name and Score. Includes teams like 鹿嶋学園, 日立, 水戸工, etc.

科技日立 延長制す

ドが3度入れ替わる大接戦を延長の末に制した。投手陣は計9奪三振も、2点を追う8回2死から

3連打で同点、10回には1死一、二塁とし、網野の左中間への二塁打でサヨナラ勝ちを決めた。投手陣は計9奪三振も、2点を追う8回2死から

Scoreboard for 日立市民 vs 常総学院. Includes runs, hits, errors, and player statistics.

常総 初戦で散る

創部以来初



科技日立一常総学院 9回裏科技日立1死一塁、マウンドで坂本(左)に声をかける太田和主将=日立市民、及川隆史撮影

悔しさ晴らせず

太田和主将

「自分たちの代でもう一度甲子園へ」と始動したが、道は険しかった。昨秋は真大会2回戦、今春も真大会3回戦で敗退。本県高校野球をけん引してきた同校だからこそ周囲からの期待は大きく、敗れた時の視線は厳しい。このままではいけない。再スタートの気持ちで臨んだ夏の初戦。1点を追う

白球の詩

逆襲の夏にするはずだった。6年ぶりの甲子園を目指した常総学院は創部以来初めて初戦で姿を消した。延長10回裏1死一、二塁。相手6番の打球は左中間へ。サヨナラ負けを確信した太田和主将(3年)は一度地面に膝をついた後、整列へ向かった。「お前に託す」「借りを返してくれ」。太田和は昨夏、ともに戦った卒業生

網野が殊勲打

「俺がヒーローになる」...チーム一丸となり、選手それぞれが役割を果たした科技日立が、常総学院に延長サヨナラ勝ちした。5-5で迎えた10回1死一、二塁で、途中出場の網野隼斗(3年)が左打席に立った。「相手は同じ高校生。俺がヒーローになる」と強い気持ちを持って、外角の直球を振り抜くと、鋭い打球は左中間へ。試合が決まった。



科技日立一常総学院 サヨナラ勝ちが決まり、喜びを爆発させる科技日立ナイン=日立市民

Scoreboard for 日立市民 vs 常総学院. Includes runs, hits, errors, and player statistics.

Scoreboard for 日立市民 vs 常総学院. Includes runs, hits, errors, and player statistics.

【評】地方を見つけた藤代が攻守で圧倒し、五回コールド勝ちで守を下した。3点リードの四回に6連打と打者12人の猛攻で一挙8点を加えて突き放した。先発の新関は5回を被安打3無失点、野手陣も3併殺を奪うなどして立てた。守は三回以外は毎回走者を出したが、藤代の堅守に阻まれ、最後まで三塁を踏めなかった。

藤代 地方見 藤代11-0守 谷 守 谷 守 谷 守

Scoreboard for 日立市民 vs 常総学院. Includes runs, hits, errors, and player statistics.